

様式第1号

会 議 録

会議の名称	令和元年度 第1回 所沢市総合教育会議
開催日時	令和元年11月19日(火) 午後3時15分から午後4時00分まで
開催場所	所沢市教育センター 大研修室
出席者の氏名	所沢市長 藤本 正人 教育長 内藤 隆行 教育長職務代理者 大岩 幹夫 教育委員 吉本 理、教育委員 中川 奈緒美 教育委員 寺本 彰、教育委員 清水 国明
欠席者の氏名	
説明者の職・氏名	
議題	(1) 新しい任期における教育行政への思いについて (2) その他
会議資料	・資料「善きふるさと 所沢」を未来の子どもたちに(抜粋)」
担当部課名	経営企画部：平田部長 企画総務課：内野参事、山屋主幹 教育総務部：師岡部長、千葉次長 教育総務課：安田課長、武政主査 学校教育部：出居部長、戸村次長 経営企画部企画総務課 電話 04(2998)9046

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
議長	<p>議長である藤本市長の進行により議事が進められた。</p> <p>（１）新しい任期における教育行政への思いについて 配布した資料については、選挙公報にはスペース的にここまで詳しく載せられなかったので、私のブログなどでオープンにしている内容となります。</p> <p>私は教員出身なので、学校の統廃合はしません。児童・生徒数が減少して、空き教室ができたとしても、２校を１校にするということではなく、空いた教室を利用して、幅広い年代の人が共有できる、地域の役に立つような施設を入れたいと思っております。</p> <p>小中学校のトイレについては、児童・生徒だけでなく、地域住民やお年寄りも使う機会のある体育館のトイレについても洋式化を進めたいと考えています。</p> <p>内装の木質化については、森林環境税を財源に基金を設立するのですが、森林資源を利用するために使うこともできるので、基金としてお金がたまったら際には積極的に進めます。</p> <p>「人的支援を進め、一方で質の向上を」については、様々な方法が考えられると思いますので、教育委員の皆様にもアイデアをいただきながら、教育の質の向上を進めていきたいと考えています。</p> <p>週５日制だと、授業以外で先生が子供たちと共有する時間を持つことは難しいと考えています。行事の時間をつぶさなければならなくなっていることや、担任でクラスを持つと、１日２時間くらいは空き時間がないと、ノートの返事を書いたりなど、子供たちのことをしてあげられないと思っております。</p> <p>学力向上支援講師を活用していますが、さらに隔週土曜日に授業をすることでゆとりが生まれるのではないかと考えています。</p> <p>通年で隔週土曜日に授業をするということだけでなく、支障のない時期だけ実施するという考え方もあると思います。</p> <p>教員ＯＢや市民の手を借り、基礎学力の徹底を図るということについては、学校の授業では、ひとりひとりの子供の学習ペースに合わせるということがどうしても難しいので、時間数が決まっているのなら、多くの大人で教えてあげたいと、そういうことをシステムとして取り入れたいということをやりたいと思ってきましたものです。</p> <p>給食に地元農産物を、ということについては、すでにやっている農家があります。必要な食材を集めることが大変ということがあるので、地元農産物を集めるというところから支援の充実を図りたいと考えています。</p>

	<p>小中高一貫の私立高の誘致も進めていきます。</p> <p>所沢市の子どもたちをオリンピック・パラリンピック応援に招待というのは、一生に一回の機会になるかもしれないので、招待してあげたいということです。県から提示されている種目の中で、ゴルフは除いて申し込みをしているので、どのくらい認めてもらえるかというところです。</p> <p>資料に載せている以外にも考えていることがあります。</p> <p>ひとつは放課後児童クラブのことで、小学校に上がる前の所沢の子どもたちは、半分くらいが幼稚園に通い、残りの半分は保育園に通っています。保育園に通っている子どもたちは、そのままの人数が、小学校に上がると放課後の居場所が必要になります。</p> <p>これまでは、小学校1年生から3年生までの居場所を確保し、4年生以上は自宅で留守番ができるでしょうという考え方でしたが、国の方針もあり、6年生までの居場所を確保する方針となっています。放課後の居場所として、民間の建物などにその場所を確保してきましたが、それでも足りないので、学校の中にその場所を得られるように検討を進めたいと考えています。</p> <p>もうひとつは、運動場の関係です。</p> <p>昔の子どもたちは、公園だけでなく、広場や近くの林などで遊ぶことができました。</p> <p>今は、管理者がいて、入れる人が限られていて、利用上の細かいルールが定められている、「施設」に囲まれています。今、誰でも入れる公共（パブリック）の広場をつくるならば、それは学校の校庭ではないかと思います。</p> <p>安全の確保と門戸を開くことの両立は難しく、どちらを選ぶかということなのかもしれません。もちろん、危険があっては困りますが、地域の皆さんも含め、子どもたちがいつでも来られる公共の場所を取り戻したいと考えています。</p>
清水委員	<p>私は、一人の先生が3学年を同時に教えるような、福井の分校育ちです。経済的な合理性を考えると、子どもの少ない学校は統廃合という方向性になるのですが、当時、学校を残してくれた、ということは今になってとても感謝しています。</p> <p>統廃合でなく、学校を残すということは、大人になってから感謝したくなることなのだと思います。</p>
中川委員	<p>文部科学省主催の学校の統廃合をテーマにした勉強会に行ってきました。学校を残すことも、統廃合して減らすことも、どちらもメリットデメリットがあるという話でした。</p> <p>学校は、そこに勤める先生にとっても母校であり、統廃合をして規模を保ち、ベテランの先生も新任の先生もいる環境だと、新任の先生にとっては良い環境です。</p>

吉本委員	<p>学校を残して1校あたりの教員数が少ない状態となるなら、学校間の先生同士の交流を支援するなど、新任の先生が不安にならないようなことを考える必要もあると思います。</p> <p>教員の人事交流についてですが、さいたま市と交流するというのがあると思いますが、実際にはやっていません。</p> <p>教育委員会だけで交流をするというのはなかなか難しいので、市長部局の人事交流も含めて検討していただけたら良いと思います。</p>
寺本委員	<p>学校を統廃合しないことや、隔週土曜日の開校の話などについて、検討の最初の段階から学校長にも加わってもらい、メリットデメリットについて考えてもらうことが必要だと思います。</p> <p>総合教育会議のような形に校長が入って検討するというのもあるかもしれません。</p>
中川委員	<p>最初から校長も巻き込めれば、学校サイドとしても当事者意識を持ってもらえるので良いと思います。</p>
教育長	<p>総合教育会議については、メンバーや議題について法律で規定があるので難しいかもしれませんが、こういった形で検討をしていくのか。教育委員会だけでなく市長部局も含めて調整していくことが必要だと思います。</p>
議長	<p>どのような形で進めていけるのか、市長部局と教育委員会で調整していくことが必要と考えます。</p> <p>他に何かありますか。</p>
事務局	<p>次回以降の会議の開催についてですが、未定となっています。協議のテーマを含めて今後また調整をさせていただきますので、よろしくお願いします。</p> <p>これで本日の会議を終了とします。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>